

## 令和6年度 児童アンケート結果(%)

全校児童対象

| 質問   | R5<br>3学期 | R6<br>3学期 |
|--|-----------|-----------|
| ①学校に行くのは楽しいと思いますか。                           | 93        | 95        |
| ②学校の勉強は、よくわかりますか。                            | 95        | 92        |
| ③タブレットは勉強の役に立っていますか。                         | 97        | 98        |
| ④先生や友達の話をよく聞いていますか。                          | 98        | 99        |
| ⑤家庭学習は、時間をかけて取り組んでいますか。<br>(低30・中50・高70分間以上) | 77        | 89        |
| ⑥自分から何度でもあいさつができてますか。                        | 87        | 90        |
| ⑦しょうらいの夢や目標を持っていますか。                         | 84        | 86        |
| ⑧友達と楽しく遊んだり話したりしていますか。                       | 99        | 99        |
| ⑨友達が困っているとき、声をかけたり助けたりしていますか。                | 94        | 96        |
| ⑩言葉づかいに気を付けていますか。<br>(○ふわっと言葉▲ちくっと言葉)        | 92        | 93        |
| ⑪集団登校の班では、周りの人と協力していますか。                     | 93        | 92        |
| ⑫中休みや昼休みの時間に、外で元気に遊んでいますか。                   | 76        | 82        |
| ⑬そうじの15分間、だまって一生けんめいはたらいていますか。               | 84        | 95        |
| ⑭交通安全に気を付けていますか。(ヘルメット)                      | 99        | 99        |
| ⑮持久走など、体力づくりにいよくてきに取り組んでいますか。                | 80        | 84        |
| ⑯給食はのこさず全部食べていますか。                           | 91        | 94        |
| ⑰先生は、わかりやすく教えてくださいか。                         | 98        | 99        |
| ⑱先生はあなたのよいところをみとめてくれると思いますか。                 | 92        | 91        |
| ⑲自分には、よいところがあると思いますか。                        | 85        | 93        |
| ⑳自分せんようのスマホやタブレットを持っていますか。                   | 67        | 68        |

90%以上 80%未満

※ タブレットを使って実施。4件法(④当てはまる③だいたい当てはまる②あまり当てはまらない①当てはまらない)で回答。上記は、肯定率(④③と回答)の割合。

- ◆多くの児童が丹原小学校に対して愛着を持ち、学習や活動に対して一生懸命に取り組んでいることが分かる。
- ◆90%以上の肯定率(④③と回答した児童の割合)がある項目についても、「(あまり)当てはまらない。」と答えた児童が一定数いることに教職員等は留意し、更に一人一人を大事にした教育活動を行っていきたい。
- ◆また、毎月行う「学校生活アンケート」の回答を基に、今後も積極的に児童に対する教育相談を行っていく必要がある。
- ◆⑤⑫⑬⑱については、昨年度と比べて5%以上肯定的回答が増えた。家庭学習については、学校からの課題(宿題)の他、自主学習ノートの活用を通して、主体的に取り組む児童が増えてきている。学年に応じた家庭での過ごし方に関する指導や御家庭への協力の呼び掛けが成果につながっていると考える。外遊びをする児童も増えた。「縄跳び・マラソンカード」の取組が効果的であったと思われる。今後も、室内遊びや読書などをして過ごす児童の思いも尊重しながら、天気の良い日を中心に外遊びを促していきたい。「挨拶」「掃除」等、基本的な生活習慣も改善されている。高学年中心にしっかりできていていいモデルになっている。⑱については、昨今話題になっているとおり、「自己肯定感」が低い児童が増えてきている。引き続き、自信を持てるよう声掛けをしたり自分の持ち味や強み・個性に気付くような授業を道徳や学級活動で展開したりしていく必要がある。
- ◆②については、90%の肯定率は超えているが、昨年度より下がっている。授業改善を今後も進めるとともに、学習においてつまずきがある児童への個別指導をさらに充実していきたい。